

(2) 東北



東北地域では、景気は下げ止まりつつある。

- ・ 鉱工業生産は増加傾向にある。
- ・ 個人消費はやや弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい。

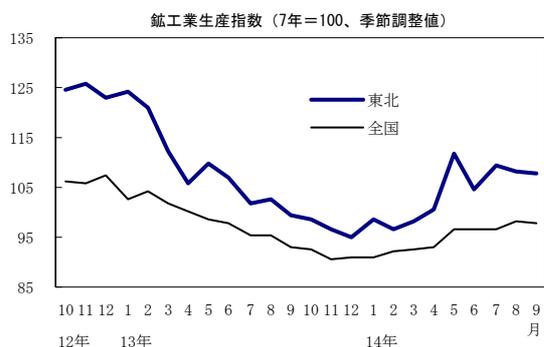
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 14 年 8 月)	今回 (平成 14 年 11 月)	
雇用情勢	さらに厳しさを増している	依然として厳しい	↑

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は増加傾向にある。

電気機械は、海外向けの電子部品、デジタル家電等を中心に生産は増加し、持ち直しの動きが続いている。食料品は、冷凍水産物、飲料が一進一退で推移している。一般機械は、金型等で動きがみられ、増加傾向となっている。窯業・土石は、公共事業縮減等によりセメントが減少しているほか、電子部品向けファインセラミックスも一服感があり、全体としては減少に転じている。



(備考) 平成14年9月の東北は速報値。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

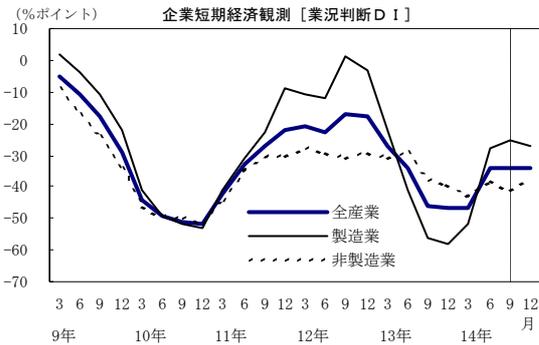
	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		4~6 月期	7~9 月期	7~9 月期	7~9 月期
電気機械	34.8	14.9	3.8	4.2	7.6
食料品・たばこ	9.3	▲5.0	1.9	0.8	▲3.5
一般機械	7.5	10.8	3.9	2.2	▲8.4
繊維	6.7	▲3.4	▲2.1	▲1.9	▲3.3
窯業・土石	6.3	12.7	▲4.8	▲7.2	▲4.9
鉱工業	100.0	8.2	2.6	1.5	0.1

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

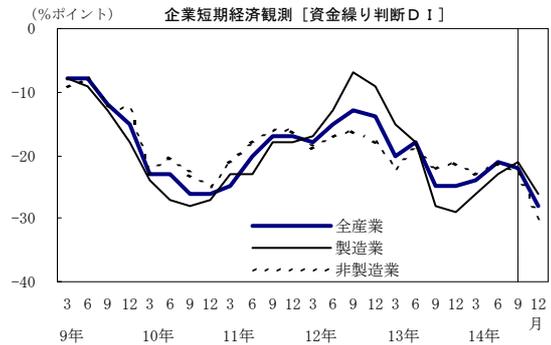
2. 7~9月期は速報値。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「苦しい」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

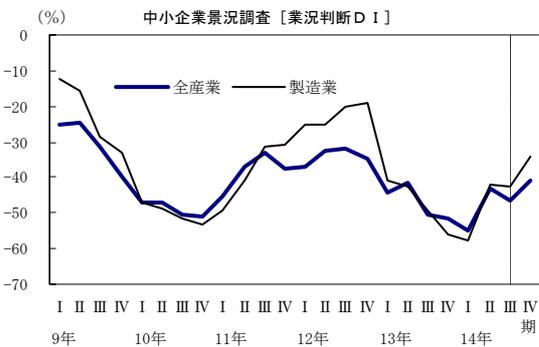
企業短期経済観測調査 [業況判断D I、資金繰り判断D I] 及び中小企業景況調査 [業況判断D I]



(備考) 「良い」 - 「悪い」 回答者数構成比。12月は予測。



(備考) 「楽である」 - 「苦しい」 回答者数構成比。12月は予測。



(備考) 「好転」 - 「悪化」 回答者数構成比。14年IV期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (10月調査) [企業動向関連 (現状判断)]

「ブランド力のある企業や、商品など付加価値の高いものは、それなりの価格を維持し、販売も順調である (経営コンサルタント)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

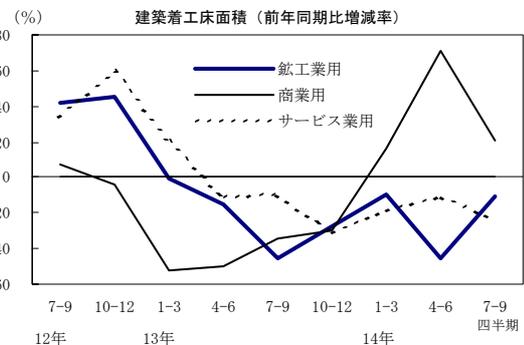
(3) 設備投資の14年度計画は前年度実績を下回っている。

企業短期経済観測調査 [設備投資 (9月調査)]

(前年度比増減率、単位：%)

	13年度実績	14年度計画
全産業	▲29.2	▲11.8 (▲0.5)
製造業	▲38.4	▲17.5 (▲2.7)
非製造業	▲15.0	▲5.3 (1.8)

(備考) () は前回 (6月) 調査比修正率。



2. 需要の動向

(1) 個人消費はやや弱含んでいる。

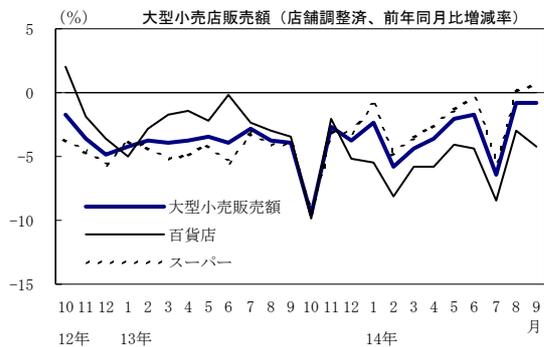
大型小売店販売額及び乗用車新規登録・届出台数

百貨店は、主力の衣料品について、梅雨明けの遅れによる低温、台風の影響による来客数減少、残暑の影響などの天候不順により振るわず、身の回り品もブランド品を除き不振で、プロ野球の優勝セールで一部回復したものの、全体としては引き続き前年を下回っている。

スーパーは、主力の飲食料品については、7月は天候不順により伸び悩んだが、涼味関連の飲料等が伸び、また優勝セールのほか、相場高の野菜が堅調、牛肉でBSEの影響が薄らぎつつあること、営業時間の延長等から8月以降はプラスに転じた。

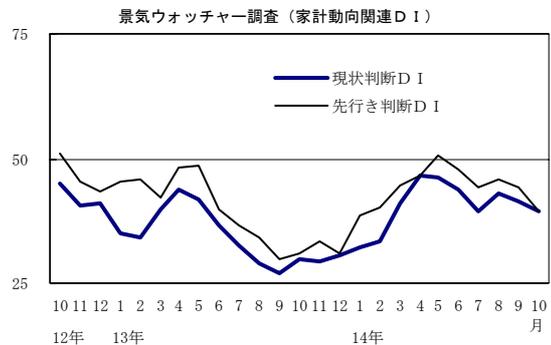
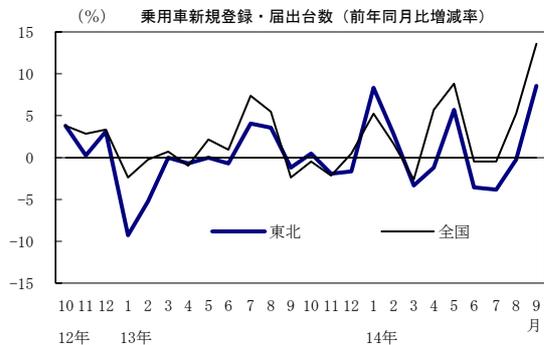
景気ウォッチャー調査（10月調査）[家計動向関連D I（現状判断）]

「利用客が減少したままである。これまでタクシーを利用していた人が自転車に乗るようになっている（タクシー運転手）」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



	（前年同期比増減率、単位：％）			
	13年10-12月	14年1-3月	4-6月	7-9月
大型小売店	▲5.3	▲4.0	▲2.5	▲2.8
百貨店	▲5.7	▲6.3	▲4.8	▲5.5
スーパー	▲5.1	▲2.9	▲1.4	▲1.6
乗用車	▲1.0	0.5	0.0	1.7
景気ウォッチャー	29.8	35.5	45.6	41.1

（備考） 1. 大型小売店販売額は店舗調整済。
2. 景気ウォッチャー調査の数値は家計動向関連の現状判断D Iの3か月単純平均



(2) 住宅建設は減少している。

持家の減少幅が拡大し、貸家も減少に転じ、全体として減少している。

(3) 公共投資は年度累計で見ると前年を下回っている。

